

目標の進捗状況報告書

(2012年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	法学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ(学部) コースワークとリサーチワークのバランス(院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供(学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容(学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供(院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供(専院)

II. 目標の進捗評価と進捗状況報告(2012.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。

進捗評価はA、B、C、Dの4段階とし、2012年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。

A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
- B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
- C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
- D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 初年次に専門教育の導入となる科目を効果的に配置する。	→「1年次配当専門科目の開講数と受講者数・履修登録率・単位取得率」	B	B	B		
2. 2年次以降に学修ニーズや進路の希望に応じたコース制を設け、専門科目を体系的に配置する。	→「コースについての学生満足度調査」	B	B	B		
3. 演習のメニュー・開講数を増やし、各年次に開講して履修できるようにする。	→「ゼミ形式の少人数教育科目の開講数(専門分野別・配当年次別)と履修登録率・単位取得率」	B	B	A		
4. 英語・仏語中期留学、国連ボランティア科目、外国語インテンシブ・プログラムの受講を促す。	→「英語・フランス語中期留学、国連ボランティア科目、外国語インテンシブ・プログラム受講者数・履修登録率・単位取得率(学科別・学年別・男女別・コース別)」	B	B	B		
5. ライフデザイン科目の受講を促進するとともに、コース制に沿った職業支援的な科目を設ける。	→「インターンシップ関連科目の受講者数・履修登録率・単位取得率(学科別・学年別・男女別・コース別)、職業支援的科目の開講数・受講者数・履修登録率・単位取得率」	B	B	B		

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況》

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	新カリキュラムでは、1回生用の専門科目として、専門導入科目と専門基幹科目、選択専門科目のグループにわけ、法律学科、政治学科の各学生に入門編となる専門科目を配置した。また司法特修コースは2回生春学期から、他の5コースも2回生秋学期からコース選択を開始するため、旧カリキュラムよりも2回生配当の専門科目数をさらに増やした。詳細は法学部学則別表参照。学生の履修登録率、単位取得率は、今後調査する。
目標2	学生の関心および進路希望に合わせて、新カリキュラムではコースを再編成し、①司法特修コース、②司法コース、③企業法務コース、④国際法政コース、⑤公共政策コース、⑥政治システムコースの6コースをおいた。法律学科生は①②③④⑤から、政治学科生は、④⑤⑥から選択する。⑤公共政策コースは両学科生が選択でき、経済学部と連携したコースで経済学部の開講科目も広く受講できるように配慮している。コースの満足度は今後調査することになる。
目標3	新カリキュラムでは演習科目の種類を増やした。1回生開講のスタートアップ演習2単位、基本演習2単位、2回生開講のコース導入演習2単位、法政教養演習2単位、模擬裁判演習4単位、3、4回生開講の、法学研究演習、政治学研究演習、法政文化教養演習各I、II(それぞれ4単位)、さらに各コースに設定された実践演習AB(司法特修実践演習はCDも)それぞれ2単位、である。法学部学則別表参照のこと。学生の履修状況については、学年進行とともにモニタリングしていく予定である。
目標4	中期留学、海外インターンシップ、国際ボランティア参加数は添付データ参照。法学部全体としての数が2桁に満たず、細分化したデータは取っていない。外国語インテンシブプログラムのうち、英語インテンシブでCIECに移行したプログラム数を除外すると、2009年：213名、2010年：198名、2011年 215名となり、毎年それなりの数の学生が同プログラムに参加しているといえる。国際的な活動に関心を示す学生は一定数いるが、スタートアップ演習などを通じて、1回生の段階でさらに情報提供していく。
目標5	キャリアセンターおよび教務課が実施しているライフデザイン関連の科目については、毎年一定数の学部生が受講している(添付の職業支援的科目のデータを参照)。法学部の新カリキュラムにおいては、各コースの4回生に開講する実践演習科目は、それぞれ実務家教員による授業を予定しており、各コースで学んだことを活かして職業選択をするモチベーションを学生に与えるよう配慮している。法学部学則別表参照。
備考	

《評価指標データ》

目標4についての評価指標データ

英語中期留学生数			
	学部		
	春学期	秋学期	計
2004年度	0	2	2
2005年度	5	6	11
2006年度	0	3	3
2007年度	1	3	4
2008年度	3	3	6
2009年度	4	4	8
2010年度	2	5	7
2011年度	5	4	9
2012年度	4	1	5

フランス語中期留学生数		海外インターンシッププログラム	
	学部		学部
	計		計
2004年度	0	2004年度	
2005年度	2	2005年度	
2006年度	1	2006年度	
2007年度	2	2007年度	2
2008年度	1	2008年度	2
2009年度	0	2009年度	0
2010年度	2	2010年度	1
2011年度	1	2011年度	2

国連学生ボランティア(UNV) 法学部学生派遣者数												
	神	文	社会	法	経済	商	国際	教育	人間福祉	総合政策	理工	計
2004年度	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0	8
2005年度	0	1	1	0	0	0	0	0	0	10	0	12
2006年度	0	0	0	1	0	0	0	0	0	9	0	10
2007年度	0	0	0	0	0	1	0	0	0	9	0	10
2008年度	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3	0	6
2009年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	4
2010年度	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	6
2011年度	0	0	0	1	1	1	0	0	1	2	0	6
計	1	3	1	6	1	2	0	0	1	47	0	62

注1) 2006年度は、3年生1名。
注2) 2008年度は、3年生1名、4年生2名。
注3) 2009年度は、UNTeSボランティア派遣。
注4) 2010年度は、2年生。
注5) 2011年度は、3年生。

UNTeSボランティア(国連ボランティア)派遣									
	学部								
	スリランカ	モンゴル	ベトナム	フィリピン	キルギス	マラウイ	サモア	フィジー	計
2004年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2005年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2006年度	0	0	0	1	0	0	0	0	1
2007年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2008年度	0	0	0	0	3	0	0	0	3
2009年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2010年度	0	0	0	0	0	1	0	0	1
2011年度	0	0	0	0	0	0	1	0	1

法学部 インテンシブプログラム履修者数(2009～2011)				
		2009	2010	2011
総計(英語・フランス語・ドイツ語インテンシブ)		279	251	228
		2009	2010	2011
英語	インターミディエイトⅠ(秋)	59	75	75
	インターミディエイトⅡ(春)	72	62	75
	プレアドバンス(春・秋)	33	29	30
	アドバンスA(春・秋)	11	5	10
	アドバンスA(春・秋) ＜飛び級コース＞	4	3	0
	アドバンスB(春・秋)	6	4	1
	アドバンスB(春・秋) ＜飛び級コース＞	4	2	3
	アドバンスC(春・秋)	8	4	3
	アドバンスC(春・秋) ＜飛び級コース＞	1	5	2
	サマー・インテンシブ・イングリッシュA(春)	15	-	16
	サマー・インテンシブ・イングリッシュB(春)	-	9	-
	インテンシブ・イングリッシュ・イン・カナダⅠ (春・秋)	8	7	-*
	インテンシブ・イングリッシュ・イン・カナダⅡ (春・秋)	8	7	-*
	インテンシブ・イングリッシュ・イン・カナダⅢ (春・秋)	8	7	-*
合計	237	219	215	
		2009	2010	2011
フランス語	インテンシブ初級Ⅰ(秋)	10	4	3
	インテンシブ初級Ⅱ(春)	10	10	5
	インテンシブ初級Ⅲ(春・秋)	3	1	0
	インテンシブ中級(春・秋)	3	0	1
	中期留学Ⅰ(秋)	0	2	-*
	中期留学Ⅱ(秋)	0	2	-*
	中期留学Ⅲ(秋)	0	2	-*
合計	26	21	9	
		2009	2010	2011
ドイツ語	インテンシブ初級Ⅰ(秋)	7	2	1
	インテンシブ初級Ⅱ(春)	7	7	2
	インテンシブ初級Ⅲ(春・秋)	1	2	0
	インテンシブ中級(春・秋)	1	0	1
	合計	16	11	4

*の科目は、2011年度よりCIECのプログラムへ移行

目標5についての評価指標データ

2012年度 職業支援的科目				2009		2010		2011	
提供部課	正課・正課外	履修基準年度	プログラム名	履修者数	単位修得者数	履修者数	単位修得者数	履修者数	単位修得者数
キャリア教育プログラム室	正課	2年	*社会の中での自分(インターンシップ講義)	108	102	213	209	197	188
キャリア教育プログラム室	正課	2年	*ソーシャルスキルとチームワーク(インターンシップ演習)	60	58	99	95	99	93
キャリア教育プログラム室	正課	3年	*インターンシップ実習	10	9	11	11	19	19
キャリア教育プログラム室	正課	3年	*認定インターンシップA	0	—	0	—	0	—
キャリア教育プログラム室	正課	3年	*認定インターンシップB	0	—	0	—	0	—
キャリア教育プログラム室	正課	*	キャリアゼミA	10	10	7	7	不開講	
キャリア教育プログラム室	正課	2年	キャリアゼミB	14	13	10	9	7	7
キャリア教育プログラム室	正課	2年	キャリアゼミC	5	5	6	6	7	7
キャリア教育プログラム室	正課	3年	キャリアゼミ アドバンスト	—	—	4	3	1	1
キャリア教育プログラム室	正課	1年	霞が関セミナー	32	32	16	16	22	21
キャリアセンター	正課外		ウイメンズ・エグゼクティブ・リーダー養成塾	5		4		2	
キャリアセンター	正課外		キャリアフォーラム『マスメディアで働く』	8		6		5	
キャリアセンター	正課外		KG枠インターンシップ	10		8		6	
キャリアセンター	正課外		成長企業インターンシップ	4		5		3	
キャリアセンター	正課外		Next Learders Project	2		0			
キャリアセンター	正課外		KGワークラボ(企業会計編)					2	
キャリアセンター	正課外		一日企業体験	2		4		8	
教務課	正課	2年	キャリアデザインと自分	39	37	37	31	44	34
教務課	正課	1年	ライフデザインと仕事	35	34	34	33	29	25
教務課	正課	1年	ワーク&ライフバランス	42	41	45	40	不開講	
* キャリアゼミAは2009年度2年、2010年度1年。				=不開講又は実施していない					
				*=インターンシップ関連科目					